

<研究の名称>

「初期臨床診断が肺炎球菌性肺炎の患者へのペニシリンGの治療成績に関する研究」

当院で以下に説明する研究(調査)をすることになりましたのでご案内します。

◆研究(調査)の対象となられる方と方法

2012年4月から2017年5月頃にかけて当院内科に肺炎球菌性肺炎の診断で入院された18歳以上の方が対象となります。診療録(カルテ)に記載された既往歴、内服薬、診療内容などを調べて研究(調査)に使わせて頂きます。個人情報データ収集の時点で匿名化し厳重な保護を行います。従って研究結果の発表に際して個人が特定されることはありません。

◆研究(調査)の背景と目的

抗生物質の乱用に伴い世界的に抗生物質が効かない耐性菌の増加が問題となっています。そのため耐性菌の増加を防止するために、どんな菌にも有効な一部の抗菌薬は温存する必要があります。しかし、残念なことにそういった抗菌薬が不必要に乱用されているのが現状です。抗菌薬を適切に使うためには感染の原因菌を正確に同定することが重要です。当院内科では2012年4月以降、そういった診療を心掛けています。そこで、我々が肺炎の患者様を治療する時に、どれだけ正確に肺炎球菌という菌を同定し、どれだけ治療に成功しているかを評価するのが目的です。

この期間に当院内科を入院されたことがある患者様で、もしご自身のデータを研究(調査)に使用されたくない場合は、診療情報を使用致しませんので、下記のお問い合わせ窓口まで、お申し出ください。なお、この研究で新たなご負担はありません。

◆お問い合わせ窓口(平日 13:00-16:00)

国立病院機構 栃木医療センター 内科 駒ヶ嶺 順平 電話：028-622-5241